

むさし野

No.33

事務局 〒350-0822 川越市山田912-7 石井方
 電話 049-225-2466
 E-mail:ishii.0525@r8.dion.ne.jp
 ホームページ：<http://www.longview.jp/musashino/>

会員の声が反映する運営を目指して

会長 石井 満

会員の皆様におかれましてはお元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

1月17日（土）、法政大学校友連合会主催「オール法政新年を祝う会」が、グランドプリンスホテル赤坂に於いて催されました。600名を超える校友が一堂に会しました。配られた座席表に記載されたテーブルの数は57卓もありました。各学部同窓会、各部活同窓会、校友連合会支部会、また個人参加の方も多くいらっしゃいました。しかし、自発的な校友会で1卓を12名で囲んだのはNo32卓の「法政むさし野会」だけでした。大いに盛り上がったことはいまでもありません。もちろん他のテーブルとの交流も深めました。ぜひ来年はご一緒いたしましょう。

大学のご協力もあり、昨年度卒業生で埼玉県在住者が4名入会されました。現在会員数はちょうど50名です。「無理して会員を増やさなくても良いのではないか」とのご意見もありますが。会報の印刷単位が100部なので

なるべく会報を無駄にしない数字に近い会員数を目指したいと思います。平成20年度の会費納入率は90パーセントです。これもまた凄いことだと思います。

会の方針は総会決議案第3号の活動方針に従って運営いたします。付け加えて申し上げる事は、年2回の勉強会と会報の充実、そして出来るだけ会員の声を会に反映する事を目指して行きます。

毎回同じヒゲ面の写真ではインパクトが無かったので、今回は3月22日（日）に熊谷さくらマラソンで走った時の写真を掲載させていただきました。記録は10キロ完走で1時間11分でした。それでは総会でお会いいたしましょう。



定期総会のお知らせ（講演会の詳細は4ページ）

2009(平成21)年度定期総会を会則第9条に基づき下記のとおり開催します。
 会員各位のご出席をいただきたくご案内いたします。

日時 2009年6月7日（日） 14：00～17：00（受付開始13時30分）
 場所 さいたま市民会館うらわ 505号 集会室

総会において会員の皆様の趣味や活動の形を展覧しております。陶芸、絵画、エッセイ、著書、写真、書、雑誌及び新聞に掲載されたご自分の記事や寄稿等々展示される方は同封の葉書の「会員通信欄」に、作品展示希望として記載願います。（お手数ですが、出欠を同封「葉書」にて5月23日（土）までにご連絡ください）。

<総会次第>

第1部 総会次第 14:00～14:30

- 1 開会のことば
- 2 会長あいさつ
- 3 議長選出（会長）
- 4 議事

第1号議案 2008年度活動報告について
 第2号議案 2008年度収支決算及び会計監査報告について
 第3号議案 2009年度活動方針について
 第4号議案 2009年度予算について

- 5 議長解任
- 6 閉会のことば

第2部 講演会 14:30～15:50 清水真理氏（セレモニーサロン株式会社代表）

第3部 写真撮影・意見交換会 16:00～17:00

■ 第1号議案 2008(平成20)年活動報告について

1. 定期総会の開催
 - ・定期総会：08年6月22日(日)開催。さいたま市民会館「うらわ」
提出5議案(07年度活動報告、07年度決算及び会計監査報告、08年度活動方針案、08年度予算案、役員の改選及び顧問の指名)を原案通り可決・承認。出席者：15名
2. 役員会の開催
 - ・第1回役員会：08年6月22日(日)開催。於：さいたま市民会館「うらわ」
 - ・第2回役員会(拡大)：08年10月25日(土)開催。於：盆栽四季の家
 - ・第3回役員会：09年2月21日(土)開催。於：さいたま市民会館「うらわ」
3. 会報の発行
 - ・会報「むさし野」第30号：08年5月15日(木)発行。定期総会開催告示他
 - ・会報「むさし野」第31号：08年9月15日(月)発行。定期総会報告、会員の声他
 - ・会報「むさし野」第32号：09年1月15日(木)発行。年頭に当たり他
4. 研究発表会の開催
 - ・第16回『盆栽村と大宮氷川神社散策』見学会：08年10月25日(土)実施。参加者：10名
 - ・第17回『方丈記を読む』、『フリーディスカッション「毎年3万人を超える自殺者はなぜか?」』研究発表会：09年2月21日(土)実施。於：さいたま市民会館「うらわ」 参加者：13名
5. 講演会の開催
 - ・定期総会記念講演会：08年6月22日(日)開催。於：さいたま市民会館「うらわ」
演題：『武蔵野の水と緑』 講師：神谷 博氏(みずみち研究会代表) 参加者：15名
6. 法政大学校友連合会主催事業への参加
 - ・08年春季『神宮の集い』：08年4月26日(土)、法大(2)対早大(3X)・1回戦。於：明治神宮野球場 参加者：2名
 - ・08年秋季『神宮の集い』：08年10月4日(土)、明大(3)対法大(0)・1回戦。於：明治神宮野球場 参加者：2名
 - ・第16回法政大学全国卒業生の集い『愛媛大会』：08年10月18日(土)～19日(日) 於：愛媛県県民文化会館(松山市) 参加者3名
 - ・09年オール法政新年を祝う会：09年1月17日(土)、於：グランドプリンスホテル赤坂 参加者：12名
7. 新規会員勧誘
 - ・08年度埼玉県出身の通信教育部卒業生114名に対し、入会勧誘文書・本会会報等を送付、勧誘活動を実施。
入会者：4名
8. その他
 - ・会員名簿(08.5.現在)の配布。 ・ホームページの充実及び連絡通報体制の整備等。

■ 第2号議案 2008(平成20)年度収支決算及び監査報告について

1 収支決算書

収入の部 自 2008年4月1日 至 2009年3月31日

支出の部 自 2008年4月1日 至 2009年3月31日

科目	予算額	決算額	備考
繰越金	79,478	79,478	
会費	76,000	90,000	43名、複数年度納入含
雑収入	8,522	7,791	寄付、勉強会会費
合計	164,000	177,269	

科目	予算額	決算額	備考
会場費	10,000	6,560	勉強会会場費、茶菓代
通信費	30,000	35,780	
総会費	50,000	45,330	講師謝礼
印刷費	40,000	58,800	
事務費	10,000	5,299	ゴム印等
勉強会講師代	10,000	3,000	勉強会講師資料代等
予備費	14,000	3,500	繰越金含
次年度繰越	0	19,000	
合計	164,000	177,269	

2 会計監査報告

法政むさし野会 会長 石井 満殿

法政むさし野会の平成21年度(平成20年4月1日～平成21年3月31日)収支計算書及び付属書類について、平成21年4月7日に監査を行った結果、何れも会則に従い会計処理は適正に実施されていることを認めます。

平成21年4月7日

会計監査 鹿野 幸作 ㊟
会計監査 小林 薫 ㊟

●新入会員紹介(敬称略)

岸 洋子 幸手市香日向1-8-4
田中 千恵 川口市本町2-1-20 ナイスアーバン川口本町 606号
古谷 昇 狭山市笹井2834

■ 第3号議案 2009(平成21)年度活動方針について

本会の目的を達成する為に、昨年度同様、「会員による研究発表会・歴史文化施設の見学会等」の開催、会報「むさし野」の発行を主活動に、その他、母校法政大学及び会員のご協力の下、入会勧誘活動を展開いたします。また、卒業生として、法政大学校友連合会並びに学部同窓会・地域支部等との情報を交換し、それらの行う諸事業に参加・協力して行きます。

- 1 定期総会の開催 2009(平成21)年度 定期総会
- 2 役員会の開催 定例会を年3回、その他必要に応じて適宜開催
- 3 会報の発行 年3回(5、9、1月に発行)
- 4 研究発表会の開催 年2回(10、2月に開催・終了後「懇談会」を開催)
- 5 講演会の開催 定期総会開催時に実施 演題 『自分らしい葬儀を挙げよう』 講演者 清水真理様
- 6 法政大学校友連合会主催事業への参加
 - ・東京六大学野球観戦(「神宮の集い」季リーグ戦 春 5月22日(土)対明治戦(詳細はホームページ) 秋
 - ・第17回法政大学全国卒業生の集い「長崎大会10・16(金)～18(日)」於：長崎市
 - ・2010年「オール法政を祝う会」平成22年1月16日(土) 場所未定
 - ・その他、アメリカンフットボール、箱根駅伝などの応援、等々
- 7 新規会員勧誘 法政大学オレンジネット校友課の協力及び会員の紹介による勧誘活動を主に展開を図る
- 8 その他 ホームページの充実。会員名簿の配布、連絡通信体制の整備(メール、FAX等による)

■ 第4号議案 2009(平成21)年度収支予算について

収入の部 自2009年4月1日 至2010年3月31日

支出の部 自2009年4月1日 至2010年3月31日

科目	本年度予算	前年度決算額	備考
繰越金	19,000	79,478	
会費	86,000	90,000	43名
雑収入・会合参加費	15,000	10,000	7,791 寄付、受取
合計	130,000	177,269	利息

科目	本年度予算	前年度決算	備考
会場費	10,000	6,560	会場費、茶菓代
通信費	30,000	35,780	
総会費	30,000	45,330	講師謝礼・会場費
印刷費	40,000	58,800	
事務費	4,000	5,299	
勉強会講師代	6,000	3,000	
予備費	10,000	22,500	繰越金含
合計	130,000	177,269	

2009(平成21)年度会費お振込みのご案内

* 同封の振込用紙にて、新年度会費(2000円)のお振込みをお願いいたします。

日頃の成果に全員が感心(1部)、活発な意見交換(2部)

第17回勉強会

第17回勉強会報告(2月21日)の参加者は13名。第1部『方丈記』を読むの講演者は榊原洋子さん。

「行く河の流れは絶えずして、しかも本の水にあらず。」で始まる日本文学史上に燦然と輝く随筆『方丈記』をどの様に講演して下さるのか、楽しみでやや興奮気味であった。

配られたレジメは方丈記の全文と鴨長明画像、方丈記を執筆した方丈庵の写真、鴨長明略年譜、方丈記の構成内容、関係地図、等、全部で14枚。講演は鴨長明略年譜をもとに、長明がどの様な流転の人生をたどったかを明らかにする事により、どの様な境遇から書かれたのか又その時代的背景はどうだったのか? という事を言及された。そして全文を朗読したCDを聴きながらの講演は大学の授業を彷彿させた。

概略を述べると、長明は1155年下鴨神社の正禰惣官の家に生まれ1216年に死去。62年の生涯であった。時代は平家隆盛ではあったが1180年の平安京が大火となり福原遷都を強行する。やがて清盛死去と共に平家の勢力は坂道を転げ落ちる如く崩壊する。そして鎌倉時代へと移る激動の時代であった。もし鎌倉幕府が鴨長明を登

用していたら『方丈記』は生まれなかっただろう、と。しかし時代は長明に味方することなく通り過ぎて行く。疫病、戦火、宮廷の権力争い、欲望、等。因果応報、輪廻転生から人間は逃れる事が出来ない現生を考察した随筆が『方丈記』である。また、随所に渡る榊原さんの説明はかなり沢山の関係書を読まれているという印象を受けた。率直に素晴らしい講演だった。



第2部は「皆の意見を聞こう3万人を超える自殺者が10年間続いている現状」。

自殺者の数と経済不況とのバロメーターは一致する。経済だけでなく年齢から来る体調不良(病気)。男性は女性の3倍もの自殺者が出る。自殺は他人事ではない。私達の身の回りに存在している。活発且つ身近な意見が多く出た。時事を話し合える事が「法政むさし野会」の真骨頂でもある。(事務局)

総会の記念講演 『自分らしい葬儀を挙げよう ～変わる葬儀の形・損をし ないためのコストの話～』

清水真理氏（セレモニーサロン株式会社代表）

日時：2009（平成21）年 6月7日（日） 14：30～15：50

場所：さいたま市民会館うらわ

米アカデミー賞外国語映画賞を受賞した『おくりびと』のブームもさることながら、最近の日本の葬儀形式もそしてその意義や価値観も様々に変化してきています。あまり触れたくない暗いイメージではありますが、避けては通れない葬儀を明るく考えてみようという講演をお願いしました。

「オール法政新年を祝う会」報告

今年も赤坂プリンスホテルで「オール法政新年を祝う会」が1月17日に開催された。「法政むさし野会」のメンバーでひとつのテーブルを占めるほど12名の参加でした。全体では600名余りで、役員や現役応援団など校友联合会らしい構成で活気溢れる雰囲気でした。

最初に校歌の合唱があり、次に岩部校友連合会会長から「（時代の）転換では危機はチャンスにもなりえる。」との挨拶があり、増田総長から「昔は6学部体制だったが、15学部体制になる、校友会の拡充が大事」と述べていました。浜後援会会長から「学生の就職が厳しいが校歌にある法政の精神で支援を」との呼び掛けがありました。その後、功労者への感謝状が授与のあと、今年の卒業生の集いである長崎大会の幹事長の乾杯の音頭でK懇親となりました。さすがに、ホテルの料理は盛り付けや味は目を見張るものがありました。

アトラクションは重低音で響く太鼓演舞から江戸神輿がありましたが、白眉はやはり「島倉千代子ショー」でした。御年70歳とは思えぬ美声は健在でライブで聴けた「人生いろいろ」は忘れがたいものです。チアガールや男子応援団員の熱演もまさに、青春の発露を感じてしまいました。

最後に肩を組んでの巨大な人の輪での校歌を歌いましたが、一体感がありました。法政卒業生の自覚と連帯を強く感得でき、ライブの魅力もある「オール法政」の会合に次回も参加したくなりました。（大川成一・草加市）

島倉千代子さんのこと 飯田桂子（小平市）

「オール法政新年を祝う会」のイベントの1つには「島倉千代子ワンマンショー」が企画されていました。島倉さんとは、品川区立南第二小学校の同期なので、是非お会いしたくて、担当の方にお願ひし、楽屋を訪ねました。島倉さんに、小学校の同期生の「関口です」と言うと、ビックリされた様子でした。ショーの半ばですので、会話は最小限にとどめて、工学部同窓会の佐藤様に写真（下）を撮っていただきました。

島倉さんとの思いでは、彼女のお姉様が、とても声のきれいな方で、NHK「のど自慢大会」では、よく鐘を三つ鳴らされていました。彼女も品川の祭りのイベントに駆り出されて、歌っていました。島倉さんの家の近くに「品川座」があり、劇場によく出演されていました。学校では、週番が出欠をとると、級友の誰かが「島倉さん品川座で一す」と、答えが返ってきました。品川座の出演がない時、学校の休み時間には、鬼ごっこをして、校舎のまわりをかけめぐりました。ドッチボール大会では、リーグ戦で島倉さんも参加しての熱戦は、思い出の一つになっています。



卒業後雑感 むさしの会入会に際して

08.3 経済学部商業学科卒 古谷 昇（狭山市）

昨年3月末、地下鉄・九段下駅で下車、武道館へ向かう。お堀の桜の開花には未だ早い。卒業記念式典、その後、場所を移しての学位記授与・懇親会等、まるで昨日のこの様に思い起こされる。あれから一年。まったく月日の経つのは早いものだ。

通信教育は、卒業することよりも勉強を継続していくことに意義があり、このことがとても重用ではないかと

思う。もちろん、その結果として卒業があるのだが、そこに至る経過というか過程というか、そんなものが大事ではなからうか。卒業し、通信教育から離れ、一年を経過した今、つくづくそう思う。生涯学習ということばが巷で流行っている。通信教育は、それにぴったりと合致する教育＝学習の手段であろう。そのうち情熱と機会があれば、また学校に復帰し勉強したいものだ。

さて、昨年末に本会に入会させて頂いたが、未だ一度も会の行事等には参加していない。せっかく、「卒業生の交流の場」を提供して下さっている「法政むさしの会」に積極的に参加し先輩諸氏との交流を深めたいと思っている。

新緑の美しい季節になりました。先日、伊豆へ旅行をしてきましたが、往復の道路が空いているのに驚き、改めて不況を肌で感じました。これからは真の豊かさを考えながら生きる時代になるのでしょうか。今号から雑誌の誌面を大きく、レイアウトも変更しました。皆様のご寄稿をお願いいたします。（鳥海）